

対象プロジェクト名	遠隔教育プロジェクト
個別プロジェクト名	遠隔講義
資料名	遠隔教育プロジェクト遠隔講義報告書
年度	2007年度～
年月日	

遠隔教育プロジェクト 遠隔講義報告書

【概要】

遠隔地からも講義などにリアルタイムで参加できるテレビ会議システムを導入

本専攻の講義やゼミは、平日夜は大手町サテライトで、土曜日は東京都文京区の白山キャンパスで行われる。院生には地方在住者も在籍し、週末ごとに東京へ通学、受講していた。そのような状況から、地方在住の院生より、「平日の講義や演習をより多く受講したい」という強い要望があり、遠隔地からも講義などにリアルタイムで参加できる仕組みとして、テレビ会議システムを導入した。



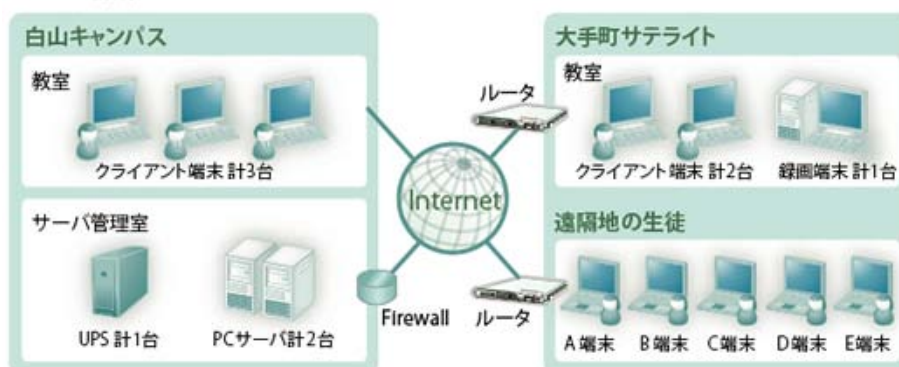
専用機器・回線を必要としない Web ベースの製品を導入

2007 年 11 月、文部科学省のプログラムの助成に基づき、テレビ会議システムを導入を検討。当初は専用機器・専用回線を用いる製品も候補に挙がるが、機器の購入コスト、回線のランニングコストの負担が大きいことから選定に至らず、インターネットを用いる Web ベースの製品の導入を決定。これにより、大学側、院生側双方の費用負担が大きくならずに済む。競争入札を経て、「FreshVoice」を採用した。

導入の決め手

- ① 音質と画質の高さ
- ② 録画機能
- ③ デスクトップ共有機能
- ④ イニシャル／ランニングコスト、および保守メニューの内容

システム構成



本運用～さまざまな機能を活用して効果的な遠隔授業を展開～

2008 年 4 月から本運用をスタート。現在は各教室で通常行われる講義を、遠隔地にもリアルタイム・双方向で中継。FreshVoice の音声遅延の少なさなどによって、ストレスない遠隔授業を実現している。遠隔地の院生は聴講しつつ、質疑応答をネットワーク経由で適宜行う。



各機能は以下の通り

WEB 共有	FreshVoice を使用しながらインターネット接続が出来る
ドキュメント共有	デスクトップに必要な情報を表示、タブレットペンで線を引いたり文字を書いたりする機能もあり、遠隔地の PC 上でも強調線が表示され、教室と同じかたちで受講可能
デスクトップ共有	どちらかのデスクトップ画面を共有、リモート操作も可能
ファイル転送	瞬時に大容量ファイル送受信が可能
チャット機能	講義中に遠隔中継のトラブルが発生した場合でも、遠隔地院生とチャットでやり取りして解決可能(音声によるやり取りでは、教室で行われている講義の妨げとなるが、チャットならその心配がない。)

操作の容易さは院生や講師に好評

FreshVoice による遠隔授業は院生にも講師にも評判が高い。遠隔地院生も一体感を持って講義に参加でること、遠隔地院生の通学費用負担を減らせたこと、操作性も良く、わかりやすいインターフェースなので、誰でもすぐに使用可能であることなどが評価の高い点である。

～受講生の声～

自身も病気治療中であり、同居家族に介護者がいる中でも、遠隔講義の仕組みがあること自体が、「学ぶ機会」を得る素晴らしいことです。

海外の友人と話をすると、遠隔での「学ぶ機会」や「働く機会」が整備されているので、日本においても今後色々な立場の人が「機会」を得る有効な手段として定着していく(スタンダードになる)こと期待します。

【実績】

2008年度 春学期 長野県北佐久郡、岩手県紫波町

秋学期 熊本県熊本市

2009年度 春学期 東京都世田谷区

秋学期 群馬県富岡町、千葉県佐倉市、兵庫県加西市